

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

本講義は、「ビジネス社会と出会うⅠ」に続けて、さらに多くの業界や企業に関する情報を得ることを目的とする。経済活動を行っている企業は数多く、学生が経験上で知っている業界や企業はそれほど多くないため、また仮に聞いたことがあったとしても正しく理解できているかは別問題であるため、Ⅰに引き続き様々な業種や企業の実務に携わっている講師をお招きし、講義を行っていただく。

日頃の生活では知ることのできない企業の活動などの情報を得ることで、受講者の就職活動や将来の進路に向けた勉学の方向性をより広げ、掘り下げることを期待する。

授業計画

第1回	ガイダンスと講義の目的
第2回	農業：農業関連の企業の担当講師
第3回	不動産：住宅業界の企業の担当講師
第4回	機械：電気機器製造業界の企業の担当講師
第5回	輸送機器：自動車部品業界の企業の担当講師
第6回	食品：食料品業界の企業の担当講師
第7回	化学：家庭用品の企業の担当講師
第8回	薬品：ドラッグストア業界の企業の担当講師
第9回	小売：百貨店業界の企業の担当講師
第10回	金融：証券業界の企業の担当講師
第11回	諸工業：印刷業界の企業の担当講師
第12回	電力：電力業界の企業の担当講師
第13回	サービス：宅配業界の企業の担当講師
第14回	観光：旅行代理店業界の企業の担当講師
第15回	全体を通しての総括
第16回	レポート提出

※ 授業で予定している業界を示しているが、仮であり、授業の順序や業界は講義担当者の予定に合わせて変わることがある。また、実際には、授業概要に示した通り、企業一社から講師をお招きし、講義を担当する。

到達目標

1. 業界の特色や動向について理解を深める。
2. 業界内の企業を知り、その企業の仕事内容や果たしている役割を知る。
3. 実社会で活躍する講師の授業を聞くことにより、自らの進路について具体的に考える機会を得る。

履修上の注意

企業からお招きする講師の実務に基づいた授業を中心として行い、質疑応答の時間を設ける形式の授業であり、一社会人としての受講姿勢を求める。特に、2年次生、3年次生の受講を推奨する。

予習・復習

予習：事前に次の授業がどの業界の企業かを知ることができるので、下調べする。
 復習：講義を聴いた上で、新たな発見事項や興味関心がわいた事項を調べる。

評価方法

毎回提出する授業内レポート50%程度と期末レポート50%程度で評価する。
 ※ 既定の出席回数を満たしていない学生は、原則として、単位認定しない。

テキスト

特に使用しない。